

# 毎週火・金曜日は 【燃やせるごみ】の収集日

# 貴重な資源の正しい分別方法

現在、上田地域広域連合では上田・東御・丸子の3か所のクリーンセンターを統合して新たな資源循環型施設の建設を計画しています。新施設建設費用については市町村ごとのごみの量に応じて負担することとなっています。皆さんの負担を減らすためにもごみの減量化にご協力をお願いいたします。

## 【燃やせるごみ】

燃やせるごみ指定袋(青色刷)で出してください。

**(台所ごみ)** ●よく水切りしてください。  
●生ごみはできるだけたい肥として土に還元しましょう。



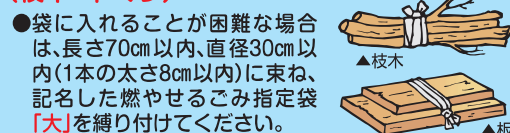
**(紙くず)** ●リサイクルできる紙はできるだけ分類して資源回収へ



**(本皮類・布類)**



**(枝木・木くず)**



●袋に入れることが困難な場合は、長さ70cm以内、直径30cm以内(1本の太さ8cm以内)に束ね、記名した燃やせるごみ指定袋「大」を縛り付けてください。

**(その他)**



■布団類について1回に出せるのは、1枚のみです。小さく折りたたみ、燃やせるごみ指定袋「大」を縛り付けてください。  
■マットレスは「燃やせない粗大ごみ」になります。

## ★生ごみの水切り★

水気が多いとごみが重くなり悪臭の原因、焼却費用の増加にもつながります。

## ★雑がみを分別★

可燃ごみに入れてしまいがちな“小さな紙”なども大切な資源です。可燃ごみ用のごみ箱の隣にもうひとつ雑がみを入れる袋を用意すると正しい分別により、可燃ごみの減量につながります。

## ★布類を分別★

綿混入の下記17品目は布類の資源物として出してください。

Yシャツ・Tシャツ・ブラウス・カジュアルシャツ・エプロン・シーツ・布団カバー・こたつ布団上カバー・手ぬぐい・トレーナー・ベビー服・座布団カバー・ポロシャツ・パジャマ・タオル・ゆかた・風呂敷

## 生ごみは捨てる前の『水切り(ぬらさない・しぼる・かわかす)』にご協力をお願いします

- ・野菜などは洗う前に使わない部分を切り落とし、ぬらさないようにする。
- ・野菜くずなどは水切りネットなどを利用し、キュッとしぼる。
- ・水切りした生ごみを風通しの良い場所でかわかす。(臭いも減る)

## ひとり一人の『ひと手間』でたくさんのハッピー

- ・ごみが軽くなり、ごみ出しが楽になります。
- ・污水漏れ、悪臭防止になり、ごみ集積所の環境が良くなります。
- ・ごみの収集車が余分な燃料を使わずにすみ、二酸化炭素の発生量が抑えられます。
- ・焼却の際にエネルギーの無駄が減り、ごみ処理費用の軽減につながります。





しぼったり、かわかしたりして水分を減らす。



## 生ごみをリサイクルへ

村では家庭から出る生ごみの堆肥化を進めるため、生ごみ処理槽・生ごみ処理機の購入費用を補助しています。補助金交付対象者は青木村に住所があり、村税等の滞納がない方です。微生物の力を利用して良質で安全な自家製堆肥を作ってみませんか？

	生ごみ処理槽 	生ごみ処理機 
補助率等	一台につき自己負担1,000円 ただし、一台につき10,000円を限度とする	一台につき3/4を補助 ただし、一台につき50,000円を上限とする
交付条件	一世帯につき年度1回で二台まで	一世帯につき年度1回で一台まで

補助金申請書類は青木村ホームページでダウンロードしていただくか、役場窓口でご記入ください。  
詳しくは役場 保健衛生係までお問い合わせください。